

## 第3章 計画の目標と施策体系

- 1 基本目標
- 2 施策の柱とSDGs  
(持続可能な開発目標)との関係
- 3 環境施策と体系



加波山

## 1 基本目標

石岡市総合計画の「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」という将来像を踏まえ、本計画の最も基本的な目標を、次のように定めます。

### 歴史ある都市、田園、里山が 調和する魅力的なまち

石岡市総合計画が目指す将来像を環境面から実現するためには、この基本目標を長期的な目標として、豊かな自然・歴史・文化、快適な生活環境、循環型社会及び脱炭素や気候変動に適応するまちづくりを進める必要があります。私たちは、このかけがえのない自然や歴史と共生し、快適で豊かな環境を未来へつなぐために、一人ひとりが環境と向き合い、市民・事業所・行政が協働して、よりよい環境を創る魅力的なまちづくりを目指します。

## 2 施策の柱と SDGs(持続可能な開発目標)との関係

### 2-1 豊かな自然・歴史・文化を未来へつなぐまち

本市は、西部から北部にかけて連なっている筑波山系の山岳部から、市街地にかけての丘陵部、中央に広がる平野部、南東部の霞ヶ浦といった、多種多様な自然環境が存在し、それに伴い、多様な生態系が存在しています。

このような多様な自然環境・生態系を保全・維持し、豊富な自然資源を未来へつなぐために、生物多様性を育み、自然環境の保全を目指します。

また、本市には常陸国分寺跡等多くの文化財に代表される歴史的遺産も数多く存在します。これらの歴史的・文化的な景観を将来にわたって保護・保全することも目指します。

#### 【関連するSDGs】



## 2-2 快適な生活環境をみんなで守るまち

私たちが快適な生活をおくるためには、適切な生活環境の維持が不可欠です。この適切な生活環境の維持には、騒音・振動・悪臭に代表される公害対策を実施するとともに、計画的な道路整備や、環境衛生設備の整備を進める必要があります。

また、地域における環境保全活動を効果的に進めるために、環境に関する情報の提供や環境について学ぶ機会・参加しやすい環境活動の機会を設けることで、各主体が協力して取り組むことのできる社会の構築を目指します。

### 【関連するSDGs】



## 2-3 循環型社会を構築し、脱炭素や気候変動に適応するまち

深刻化する地球温暖化は、世界共通の重要な環境問題です。私たちが排出する温室効果ガスを削減し、地球平均気温の上昇を抑えることが緊急な課題となります。また、気候変動による影響に適応するための取り組みを早急に進める必要があります。

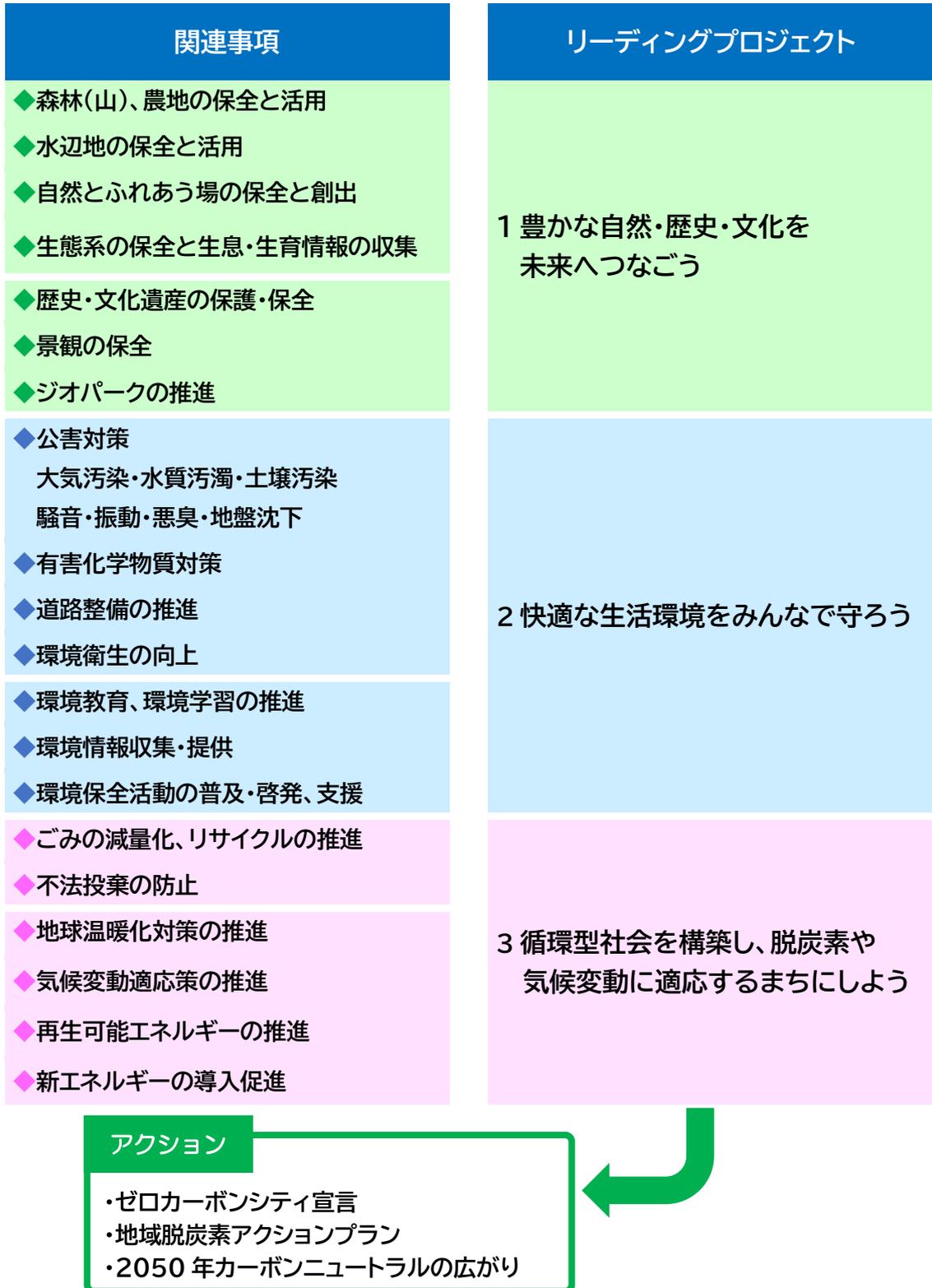
このため、市民・企業・学校・行政等が、3R(リデュース、リユース、リサイクル)を意識し、限られた資源の有効活用やCO<sub>2</sub>削減に向け、私たちの日常生活や事業活動における省エネルギーの推進、太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用、効率的なエネルギー利用、二酸化炭素の吸収源となる森林の保全や育成などが進められるまちづくりを目指します。

### 【関連するSDGs】



### 3 環境施策と体系

市の将来像	基本目標	施策の柱	施策
誰もが輝く未来へ共に創る石岡市	歴史ある都市、田園、里山が調和する魅力的なまち	1 豊かな自然・歴史・文化を未来へつなぐまち	1-1 豊かな自然の保全・再生
			1-2 歴史的・文化的環境の保全
		2 快適な生活環境をみんなで守るまち	2-1 快適な生活環境の推進
			2-2 パートナーシップによる環境保全活動の推進
		3 循環型社会を構築し、脱炭素や気候変動に適應するまち	3-1 循環型社会の構築
			3-2 地球温暖化対策の推進



## コラム 持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals)

人間活動が原因で生じるさまざまな問題に国際社会が協力して取り組むため、平成27年(2015年)9月の国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。これは、すべての国が共に取り組むべき目標で、その中に「持続可能な開発目標(SDGs)」として令和12年(2030年)までの17の目標(ゴール)が設定されています。

SDGsの目標はそれぞれ関連しているので、一つの課題解決の行動により、複数の課題解決を目指すことも可能であり、環境のみではなく、環境・経済・社会のつながりを考え、共に解決していくことが大切になります。

